

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年6月5日 (2014.6.5)

【公表番号】特表2013-529230(P2013-529230A)

【公表日】平成25年7月18日 (2013.7.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-038

【出願番号】特願2013-506528(P2013-506528)

【国際特許分類】

C 0 9 K 21/12 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/53 (2006.01)

C 0 8 K 5/101 (2006.01)

C 0 8 K 5/3477 (2006.01)

C 0 8 K 5/52 (2006.01)

C 0 8 K 5/5313 (2006.01)

C 0 8 K 5/5393 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 9 K 21/02 (2006.01)

C 0 9 K 21/04 (2006.01)

C 0 9 K 21/14 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 21/12

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/53

C 0 8 K 5/101

C 0 8 K 5/3477

C 0 8 K 5/52

C 0 8 K 5/5313

C 0 8 K 5/5393

C 0 8 K 3/00

C 0 9 K 21/02

C 0 9 K 21/04

C 0 9 K 21/14

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月18日 (2014.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 4 】

好ましくは、成分 C は、ベンゾグアナミン、トリス（ヒドロキシエチル）イソシアヌレート、アラントイン、グリコールウリル、メラミン、メラミンシアヌレート、ジシアンジアミド及び / またはグアニジンでもある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 5 】

好ましい成分 D は、酸化マグネシウム、酸化カルシウム、酸化アルミニウム、酸化亜鉛、酸化マンガン、酸化スズ、水酸化アルミニウム、ペーマイト、ジヒドロタルサイト、ヒドロカルマイト、水酸化マグネシウム、水酸化カルシウム、水酸化亜鉛、酸化スズ水和物、水酸化マンガン、ホウ酸亜鉛、塩基性ケイ酸亜鉛、及び / またはスズ酸亜鉛である。